

# 専念寺通信

八月号 (NO. 156) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

いよいよ本格的な夏がやって来ました。毎日、気温が36度や、37度という酷暑になりました。東京では、自動車の排気ガスやエアコンの室外機からの熱風もあいまって、体感温度は、天気予報の気温よりずっと高い気がします。熱中症の人の数が毎日、ニュースで流れます。皆さま、おかわりなくお過ごしですか。

## ☆お盆

今年のお盆は三日間、たいへんな暑さに見舞われ、例年よりお墓参りの方の少ない結果となりました。お盆の少し前と少しあとまでに来寺され、記帳された檀家さまの数は118軒でした。あの暑さでは夏目坂をのぼっていらっしゃること自体がとても無理なのは、と思われました。よくおいで下さったと、頭の下がる思いです。

幸い週末と重なっていましたので、息子さんや娘さんの運転する車でおいでになる方も多くいらっしゃいました。ていねいにお墓を掃除され、玄関に来て、記帳されると、ノートに檀家さまの汗がぼたぼた落ちる、猛暑のお盆でした。

13日に、新盆合同供養を行ないました。32名の檀家さま出席のもと、当山の住職と副住職が法要をとりおこなわせて頂きました。一昨年末にすべての修行を終え、昨年より法要を行なっている副住職の読経を、檀家さまが帰り際にお誉めくださったことが、とても有り難く、私共の励みにもなり



ました。今後とも、住職、副住職ともに、寛永元年（1624年）から続くこの寺の法灯を護っていきたいと思っております。

## ☆人間の叡智と戦争

8月15日は終戦記念日です。広島と長崎に原子爆弾が投下された日とともに、この日を、私たちは毎年、特別の思いでむかえます。沖縄で多くの死者が出たあとに、駄目押しのように投下された前代未聞の殺傷力の強い爆弾。放射能による後遺症は生き残った人たちを長い年月にわたり苦しめ、その人生を翻弄しました。この原子爆弾が使われたのは、世界で、私達の国に対してだけです。原子力の発明、発見を良いほうに利用したのが原子力発電、悪い利用例は原爆、と私達は認識して来ました。平和利用なら良いのではないかと。しかし、大震災を経験した今となつては、良い利用・悪い利用以前に、放射性物質をとりあつかうことの困難さ、使用済核燃料をこの地球上に「永久に」「保管」しつづけることの絶望的な難しさを知りました。ましてや地震の多い、海に囲まれた日本列島にこんなに多くの原子力発電所はいらないのではないかと、との素朴な疑問も生まれました。戦争をしたこと、原爆によって戦争が終わったことをいま一度思い、私達にできることを考えましょう。戦争体験者が近くにいたら話を聞きましょう。もう一度戦争に行きたい！という人はいますか？もう一度、息子を、夫を戦争に出したい！という人はいますか。身近なところから始めましょう。落ち着いて心を鎮めて考えま

しょう。厳しい暑さ、皆さまどうぞご自愛くださいませよう。

平成25年8月1日 大黒

